

令和5年度 人口移動調査（アンケート）結果報告書

1	調査の概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査対象者	1
(3)	調査の方法	1
(4)	調査の期間	1
(5)	回答件数	1
(6)	留意事項	1
2	調査結果（転入者）	3
(1)	回答者の年齢	3
(2)	回答者の性別	3
(3)	回答者の丹波市転入後の家族構成	4
(4)	回答者の丹波市転入後の職業	4
(5)	回答者のお住まいの地域	5
(6)	丹波市転入前の居住地	6
(7)	丹波市転入前の居住地での居住期間	7
(8)	丹波市に転入したきっかけ	8
(9)	丹波市を転入先として選んだ理由	9
(10)	移住先を検討する際、丹波市以外の自治体を検討しましたか。	10
(11)	丹波市で住み続けていくためには、どんなことがあればいいと思いますか。	11
3	調査結果（転出者）	16
(1)	回答者の年齢	16
(2)	回答者の性別	16
(3)	回答者の丹波市在住時の家族構成	17
(4)	回答者の丹波市在住時の職業	17
(5)	回答者の丹波市でのお住まいの地域	18
(6)	丹波市転出後の居住地	19
(7)	丹波市での居住期間	20
(8)	丹波市から転出したきっかけ	21
(9)	現在の居住地を転出先として選んだ理由	22
(10)	移住先を検討する際、今の居住地以外の自治体を検討しましたか。	23
(11)	これから丹波市がどうなれば、どういうことがあれば丹波市へ帰ってきたいと思いますか。	24

令和5年9月15日

丹波市ふるさと創造部ふるさと定住促進課

1 調査の概要

(1) 調査の目的

令和4年度の転入出者を対象に、その属性や移動時の状況等を明らかにするとともに、前回実施した調査の結果と比較することで、その調査結果を移住施策等に役立てることを目的に、アンケート調査を実施したものである。

(2) 調査対象者

18歳～75歳（昭和23年4月2日から平成17年4月1日生まれ）で住民基本台帳に基づく転入又は転出の日付が令和4年度中となっているものから、無作為抽出によって転入者500人、転出者500人、合計1,000人を調査対象者とした。

調査対象者は、1世帯につき1人まで（世帯主か否かを問わない）とし、転入前に同一世帯に属していた者が転出後に別世帯に転出した場合はそれぞれの住所ごとに別世帯として取り扱うこととした。

なお、調査対象者1,000人のうち、調査案内を郵送したものの、宛先不明等の理由により郵便返送があったものが31人（転入者1人、転出者30人）あり、実際に調査案内を郵送することができた（返送がなかった）のは、転入者499人、転出者470人、合計969人となる。

(3) 調査の方法

調査対象者にアンケートの回答方法を記載した調査案内を郵送し、回答は市公式ホームページのアンケート機能を用いて、同一のパソコンから重複回答に一定の制限を設けたうえで、実施した。

(4) 調査の期間

令和5年8月9日（水）～令和5年8月22日（火） 14日間

(5) 回答件数

154件（969人中、回答率15.9%）。うち、転入107件（499人中、回答率21.4%）転出47件（470人中、回答率10.0%）。

(6) 留意事項

本文中の設問の選択肢及び自由記述について、文字数が多いものは簡略化している場合がある。また、各項目の構成比について端数処理を行っているため、合計が100%にならない場合がある。

回答者が「その他」を選択した場合で、「その他」の内容についての記述から他の選択肢に合致すると判断できる場合は、「その他」ではなく当該選択肢での回答としている場合がある。

【前回調査】

○調査対象者

昭和22年4月2日から平成16年4月1日生まれで令和3年度中の転入者・転出者各500人、合計1,000人。郵送できたのは郵便返送を除き転入者497人、転出者492人、合計989人。

○調査の期間

令和4年7月27日（水）～令和4年8月9日（火） 14日間

○回答件数

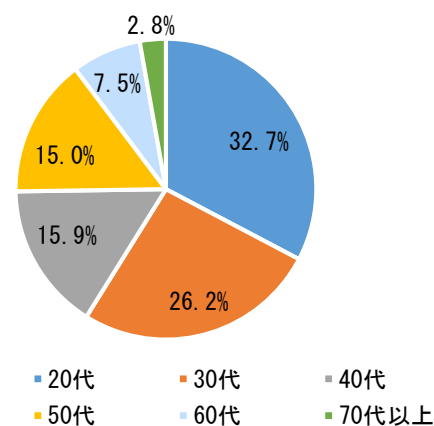
210件（989人中、回答率21.2%）。うち、転入103件（497人中、回答率20.7%）転出107件（492人中、回答率21.7%）。

2 調査結果（転入者）

（1）回答者の年齢（選択式）

回答者の年齢は、20代・30代が全体の6割近くを占めている。10代の回答者はいなかった。

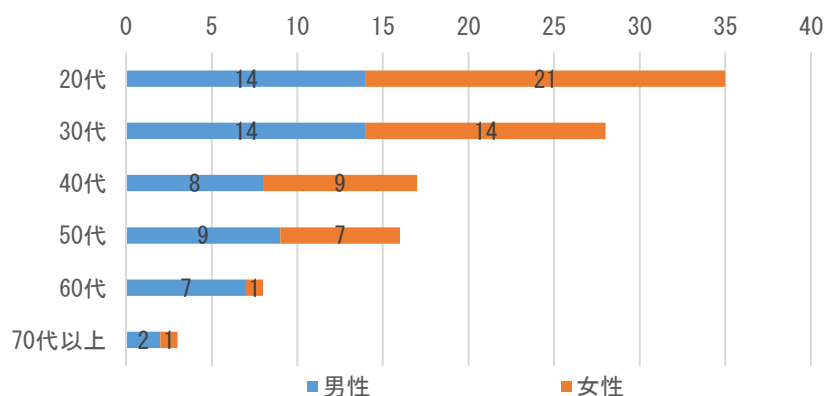
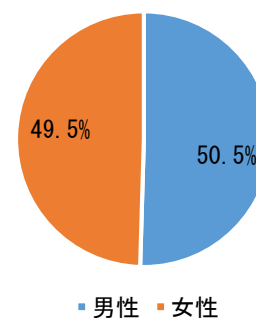
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
20代	35	32.7%	36	35.0%
30代	28	26.2%	29	28.2%
40代	17	15.9%	16	15.5%
50代	16	15.0%	12	11.7%
60代	8	7.5%	6	5.8%
10代	0	-	2	1.9%
70代以上	3	2.8%	2	1.9%
合計	107		103	



（2）回答者の性別（選択式）

回答者の性別は、昨年度と異なり、男女ほぼ同数だがわずかに男性が女性を上回った。20代は女性が、60代は男性が多いが、それ以外の世代では男女の差はあまりなかった。

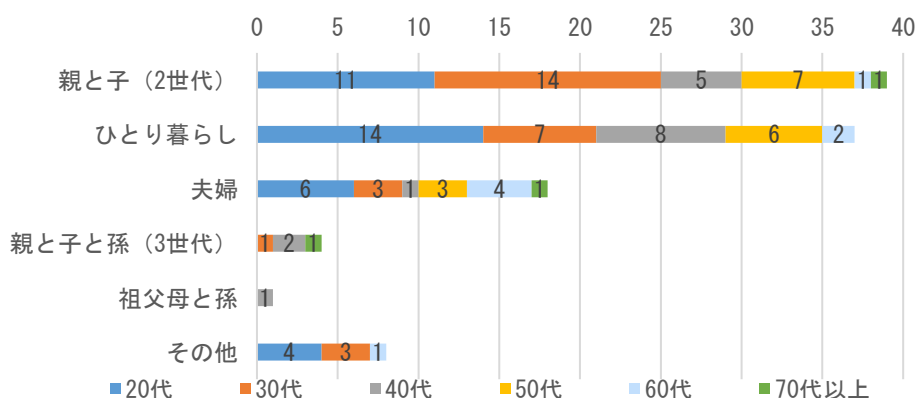
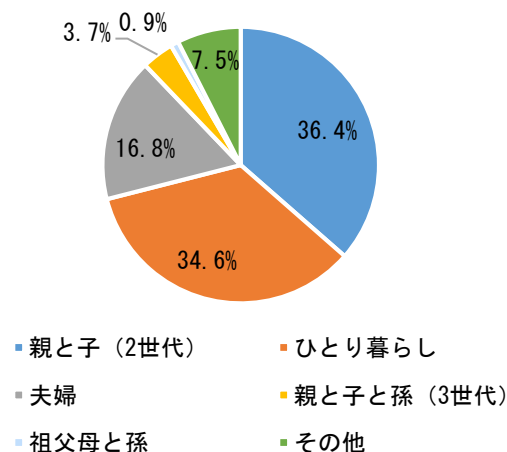
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
男性	54	50.5%	41	39.8%
女性	53	49.5%	62	60.2%
合計	107		103	



(3) 回答者の丹波市転入後の家族構成（選択式）

回答者の丹波市での家族構成は、「親と子（2世代）」が36.4%、「ひとり暮らし」は34.6%で前回に比べて10.3ポイント増、夫婦は16.8%で前回と比べて10.4ポイント減だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
親と子（2世代）	39	36.4%	37	35.9%
ひとり暮らし	37	34.6%	25	24.3%
夫婦	18	16.8%	28	27.2%
親と子と孫（3世代）	4	3.7%	9	8.7%
祖父母と孫	1	0.9%	0	-
その他	8	7.5%	4	3.9%
合計	107		103	



[その他の内容]

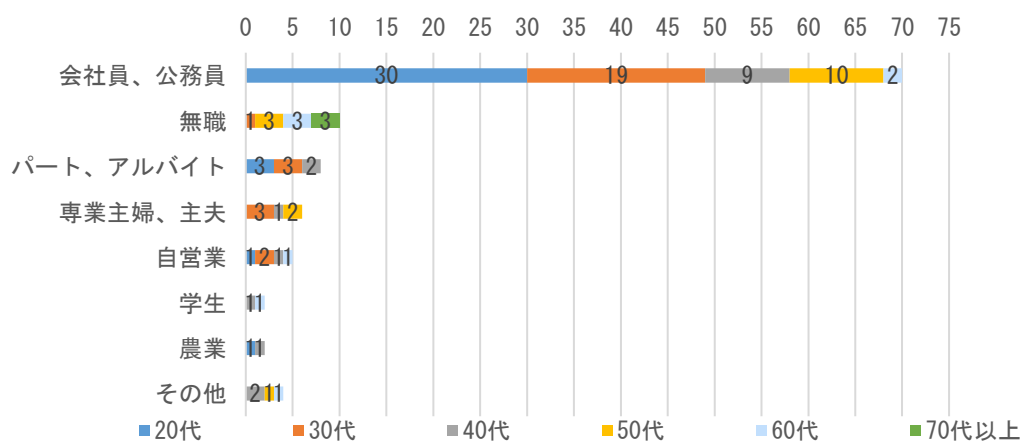
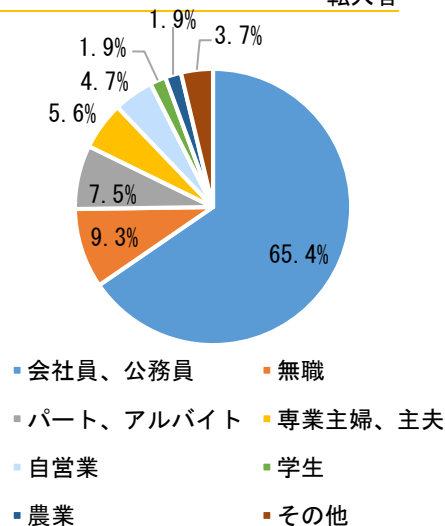
友達、彼氏と同棲、シェアハウス、同僚、婚約者、彼女

(4) 回答者の丹波市転入後の職業（選択式）

回答者の丹波市での職業は、「会社員、公務員」65.4%で最も多く、続いて「無職」9.3%、「パート、アルバイト」7.5%で、他の回答も含めて前回と同様の傾向が見られた。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
会社員、公務員	70	65.4%	62	60.2%

無職	10	9.3%	10	9.7%
パート、アルバイト	8	7.5%	9	8.7%
専業主婦、主夫	6	5.6%	8	7.8%
自営業	5	4.7%	5	4.9%
学生	2	1.9%	2	1.9%
農業	2	1.9%	2	1.9%
その他	4	3.7%	5	4.9%
合計	107		103	



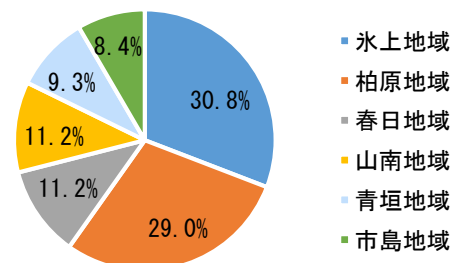
[その他の内容]

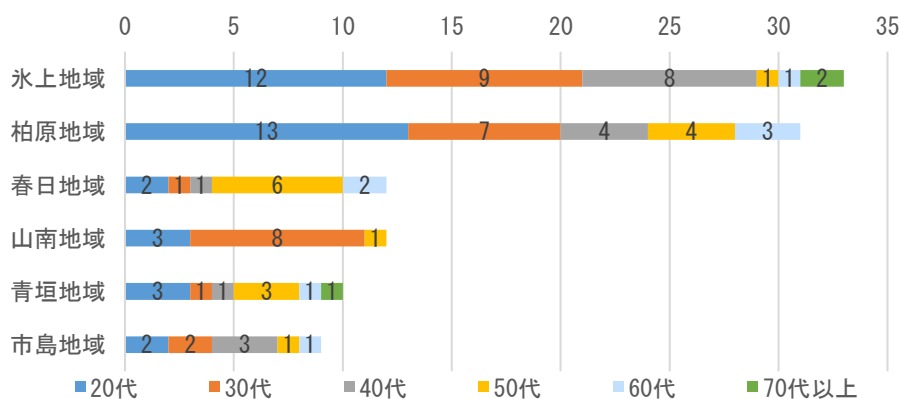
会社役員、キリスト教伝道師、介護職、歯科医師

(5) 回答者のお住まいの地域（選択式）

回答者の居住地域は、氷上地域が30.8%、柏原地域が29.0%、春日地域と山南地域がいずれも11.2%、青垣地域が9.3%、市島地域が8.4%だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
氷上地域	33	30.8%	33	32.0%
柏原地域	31	29.0%	29	28.2%
春日地域	12	11.2%	8	7.8%
山南地域	12	11.2%	11	10.7%
青垣地域	10	9.3%	11	10.7%
市島地域	9	8.4%	11	10.7%
合計	107		103	

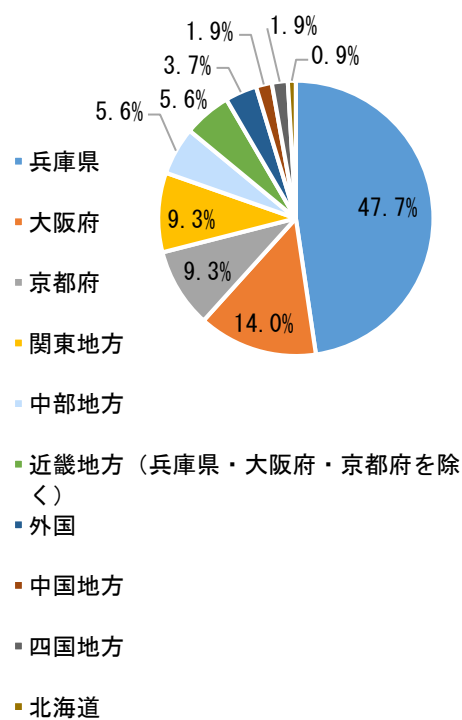




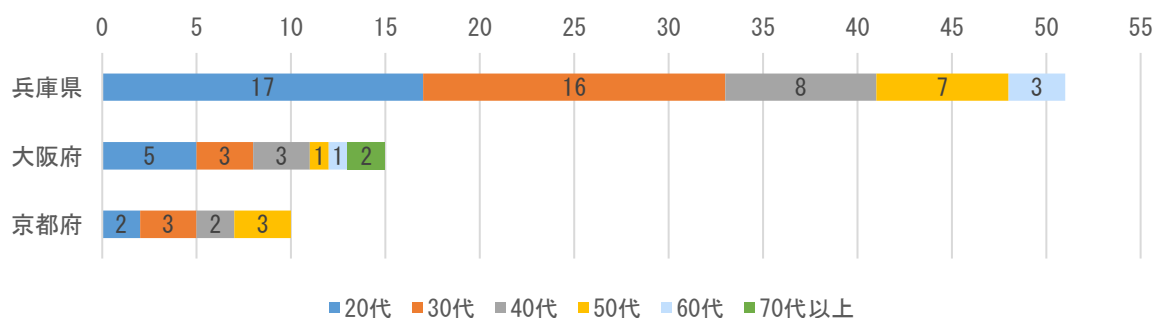
(6) 丹波市転入前の居住地（記述式）

回答者の丹波市転入前の居住地は、兵庫県だけで13.7ポイント増加し、全体の約半数を占めた。市区町村別では、神戸市（11人）、西宮市・丹波篠山市（6人）、尼崎市・大阪市・大阪府（5人）が特に多かった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
兵庫県	51	47.7%	35	34.0%
大阪府	15	14.0%	25	24.3%
京都府	10	9.3%	14	13.6%
関東地方	10	9.3%	9	8.7%
中部地方	6	5.6%	8	7.8%
近畿地方（兵庫・大阪・京都除く）	6	5.6%	3	2.9%
外国	4	3.7%	0	-
中国地方	2	1.9%	4	3.9%
四国地方	2	1.9%	0	-
北海道	1	0.9%	0	-
九州地方	0	-	3	2.9%
その他	0	-	2（※）	1.9%
合計	107		103	



※前回報告書では「その他」を5としたが、今回の集計では前回「その他」とした「近畿地方（兵庫・大阪・京都除く）」を単独項目としたため、2とした。



[上位3府県の詳細内訳]

○ 兵庫県 (51)

神戸市 (11)、西宮市 (6)、丹波篠山市 (6)、尼崎市 (5)、明石市 (4)、西脇市 (3)、宝塚市 (3)、三田市 (2)、多可町 (2)、加東市 (2)、兵庫県 (1)、伊丹市 (1)、香美町 (1)、姫路市 (1)、豊岡市 (1)、三木市 (1)、猪名川町 (1)

○ 大阪府 (15)

大阪市 (5)、大阪府 (5)、高槻市 (2)、箕面市 (1)、池田市 (1)、茨木市 (1)

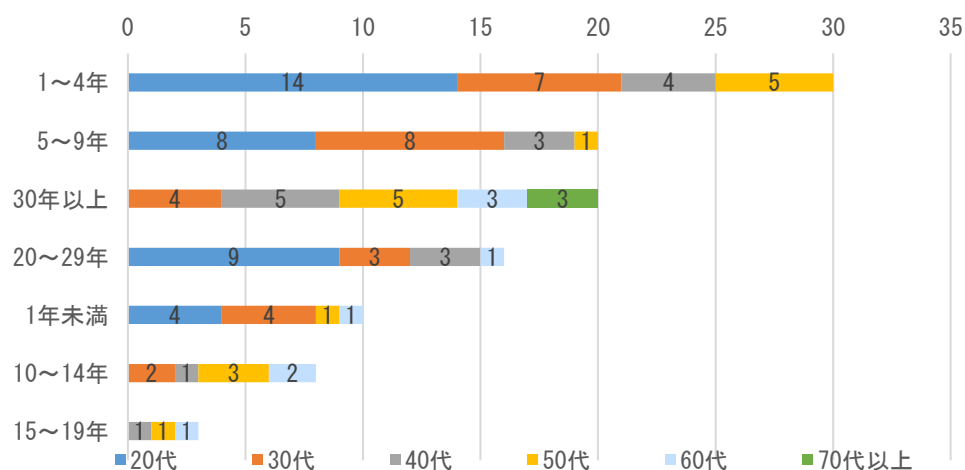
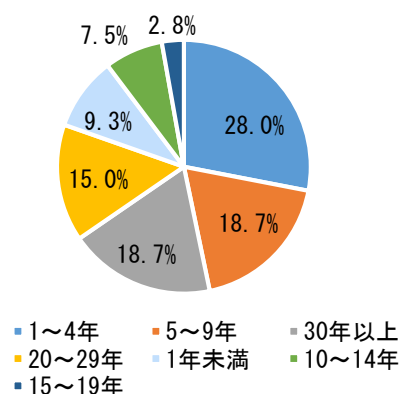
○ 京都府 (10)

京都市 (4)、福知山市 (2)、京都府 (1)、木津川市 (1)、八幡市 (1)、京田辺市 (1)

(7) 丹波市転入前の居住地での居住期間 (記述式)

回答者の転入前の居住地での居住期間は、1～4年が28.0%で最も多かった。30年以上の回答者は7.0ポイント増加した。

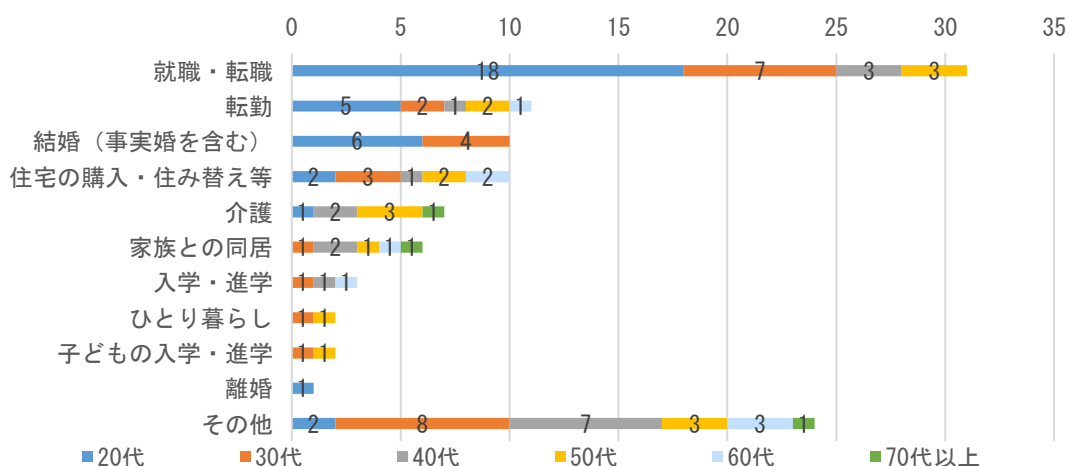
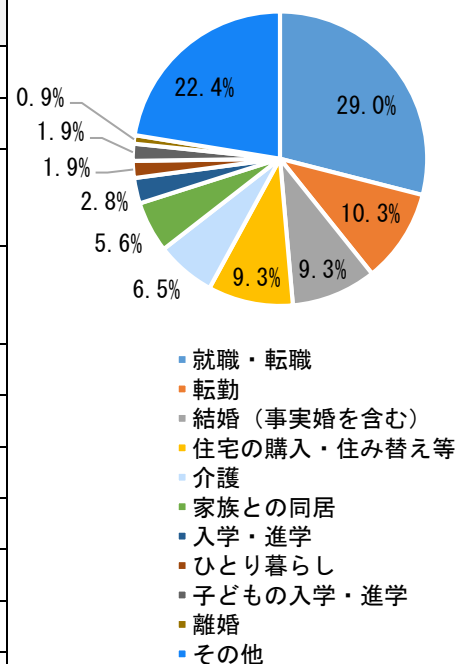
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
1～4年	30	28.0%	41	39.8%
5～9年	20	18.7%	17	16.5%
30年以上	20	18.7%	12	11.7%
20～29年	16	15.0%	17	16.5%
1年未満	10	9.3%	3	2.9%
10～14年	8	7.5%	8	7.8%
15～19年	3	2.8%	5	4.9%
合計	107		103	



(8) 丹波市に転入したきっかけ（選択式）

転入したきっかけは、「就職・転職」29.0%、「転勤」10.3%、「結婚（事実婚を含む）」と「住宅の購入・住み替え等」9.3%だった。前回は「就職・転職」が最も多かったが、今回は前回以上に次点との差が開いている。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
就職・転職	31	29.0%	27	26.2%
転勤	11	10.3%	17	16.5%
結婚 (事実婚を含む)	10	9.3%	20	19.4%
住宅の購入 ・住み替え等	10	9.3%	7	6.8%
介護	7	6.5%	3	2.9%
家族との同居	6	5.6%	6	5.8%
入学・進学	3	2.8%	1	1.0%
ひとり暮らし	2	1.9%	1	1.0%
子どもの入学・進学	2	1.9%	0	-
離婚	1	0.9%	6	5.8%
その他	24	22.4%	15	14.6%
合計	107		103	



[その他の内容]

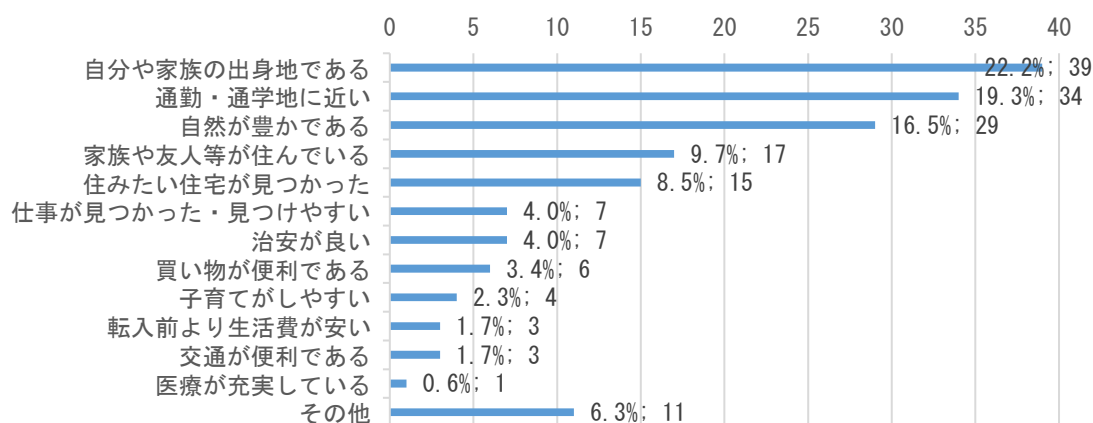
大雪で家が壊れた、田舎暮らしに憧れていたのが定年を機に移住、実家・出身地へ戻るため、健康増進・生活の質向上、療養、食の安全・食による健康増進、都市部からの移住、配偶者の事業拡大のため、病気、彼氏との同棲、丹波市に住む知人に誘われた、定年退職後2拠点生活をするため、リモート勤務可能になった

ことから余暇の充実を図るため、妻の出産、就農・農の学校への入学、ニワトリを飼うため、配偶者の実家があるため、環境が良く市街地へ通勤可能な場所を探していたため、田舎暮らしをするため

(9) 丹波市を転入先として選んだ理由（選択式・複数回答可）

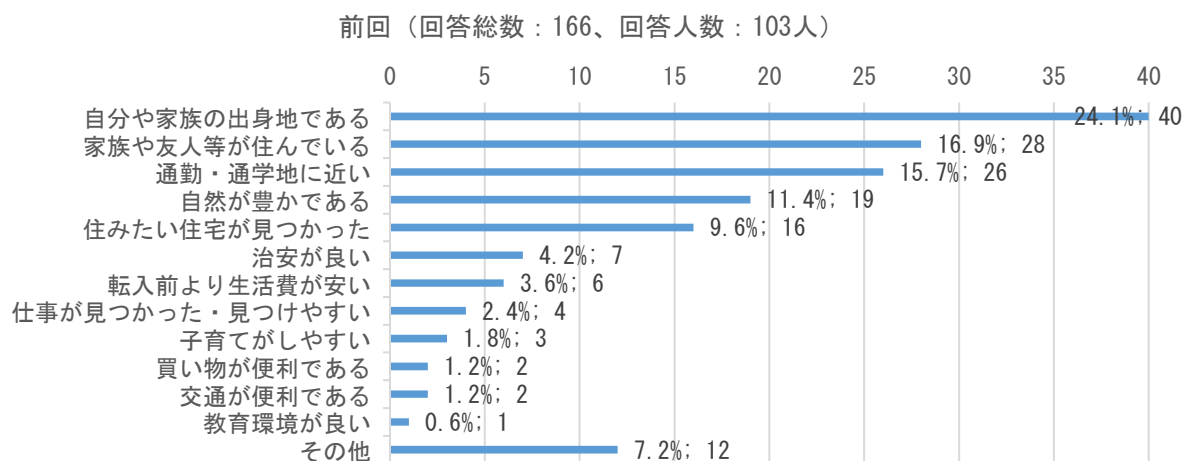
丹波市を選んだ理由は、「自分や家族の出身地である」が22.2%で最も多く、「通勤・通学地に近い」19.3%、「自然が豊かである」16.5%、「家族や友人等が住んでいる」9.7%、「住みたい住宅が見つかった」8.5%が続いた。上位3つとそれ以外の回答の差が大きく、「家族や友人等が住んでいる」が大きく下がった。

(回答総数：176、回答人数：107人)



[その他の内容]

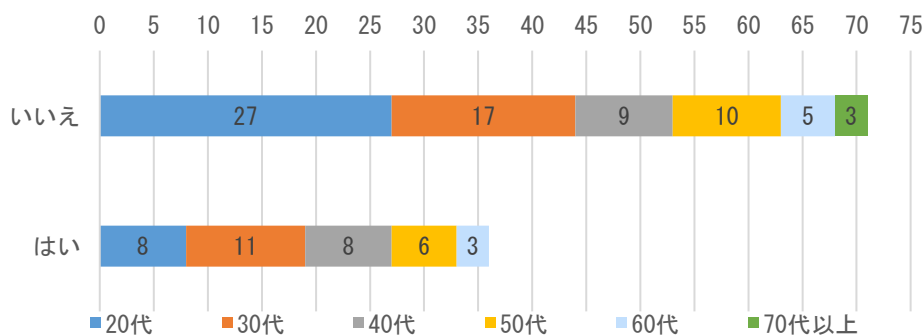
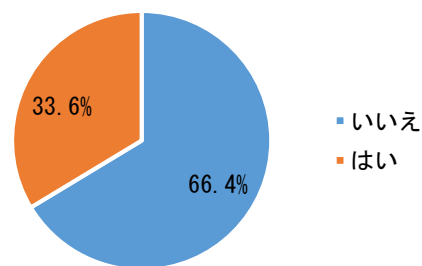
親の介護、自然派食材を提供する飲食店が多数ある、自治体が地産地消を推奨し農業に力を入れている、自然が豊かで主要道路上に商業施設も揃っている、河川や空気を汚染するような工場がほとんどなく河川や空気が守られている、素晴らしいお米の育成環境がある、敷地に隣接する田んぼがある、小学校が近く適度な生徒数、ハザードマップにあまりかかっていない、積雪が許容範囲、治水が整っている、高速道路が近い、配偶者の事業拡大のパートナーとなる事業者が多いと感じた、農業や食の産地が強い、京阪神へのアクセスのよさ、親の介護と子どもの住む場所の中間地点だから、古民家に住みながら田畑を耕す生活ができる、有機栽培が学べて有機栽培に理解のある地域、丹波で農業がしたかった、農の学校がある、実家を守るため、化学物質過敏症の療養



(10) 移住先を検討する際、丹波市以外の自治体を検討しましたか。（選択式）

「いいえ」と答えた回答者は66.4%、「はい」と答えた回答者は33.6%だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
いいえ	71	66.4%	73	70.9%
はい	36	33.6%	30	29.1%
合計	107		103	



[他に検討した自治体（回答総数：49、回答人数26人）]

丹波市転入時に他に検討した自治体は、丹波篠山市が9で最も多く、三田市が6、京都府福知山市が3、明石市・加西市・大阪府大阪市・京都府が2と続いた。都道府県別にみると、多いのは兵庫県が29、京都府が8で、大阪府は3だった。

(11) 丹波市で住み続けていくためには、どんなことがあればいいと思いますか。

(回答者 83 人)

○ 全般

- ・ 便利な医療機関明石市の様な子供の支援。
- ・ 仕事、交通機関、子育て支援が必要。
- ・ 大卒の働き口を増やす。大学を作る。
- ・ 大学や会社を誘致→市外から子育て世代などの若い世代の流入→税収増により住みやすい丹波市に。
- ・ 公共交通機関の充実と若年層の就職先確保。
- ・ 子育て世代だけではなく、若年層に対する支援を検討していただきたい。
- ・ 子育てしやすい環境、若者に寄り添う政策。
- ・ 若い1人暮らし世帯には恩恵がないと感じるので、そういうところにも焦点を当ててほしいと思う。
- ・ 子育て支援ばかりでなく、未婚者、独身の人にも支援や政策をしてほしい。
- ・ 交通が不便、買物が不便、自治体費用が高い。(働く場所がすくない)
- ・ 大阪、京都、神戸への公共交通が不便。子どもが行く高校を考えた時に、通いやすい場所に学校が少ない。
- ・ JR複線化、特急料金補助金、スポーツ交流会、ボランティアイベントなどコミュニティへの参加。
- ・ 他に検討したエリアと比べ、丹波市はとてもさまざまなことに取り組みされていると感じました。一般的なところで言うと、(1)僻地まで充実した医療、(2)20~30代の定着や、若年層の移住を促せるような教育環境や就職先、(3)農作物や自然以外の特産物、観光資源。個人的な希望ですと、小規模公園の増加(ゴムチップ素材の地面)、丹波篠山市であるようなヌートリア捕獲従事者講習、小中給食費無償化、主要道路の自転車通行帯とガードレール、役所手続きの簡略化(マイナンバーを所持していましたが紙書類が多く押印箇所が多かった。)

○ 移住

- ・ 古民家等の購入補助等あれば良いと思います。
- ・ 移住者の視点からすると、住みたい地域に住居がない例をよく聞くので。何か施策があれば。
- ・ 住める家の選択肢が少ない。賃貸も都会並に高すぎる。住める家を増やして欲しいし、市営住宅の部屋が空いているのだから、一人暮らしの人にも貸して欲しい。
- ・ 稼げる仕事が少ないのに家賃は都会と変わらないから、これでは人が都会に流れると思う。もっと低価格で住める一人暮らし用の物件があれば便利だと思う。
- ・ 引越した地域の人々との交流。
- ・ 個人的には手習いの場所があると良いのではと思います。DIY、畑作業なども都心部からの人は教えて欲しい人が多いのでは？と思いました。
- ・ 転居してきた人も孤立しないような情報提供。
- ・ 転入者が参加しやすいコミュニティがあること。
- ・ 子育てに特化した移住、定住支援を行うべき。
- ・ Uターン・移住者への対応が気持ちよくないと思います。「帰ってこいよ」の言葉はあるが、支援は全くないです。丹波市に来てもらいたい感と対応が全然ないと思いました。家を建てる際、今年4月からの対象者だけでなく生活もありますし、移住してから3年は期限を持ってもらいたい。対象枠を広げてもらいたい。何もかもが対応の幅が狭すぎかと思いません。本当に丹波市を盛り上げたいならまだまだ対策・対応が必要になるかと思いません。このままでは丹波篠山市に移住者が増えるかと思いません。おすすめできる街・丹波市になるように祈ってます。

○仕事

- ・企業の誘致等、雇用の創出。
- ・仕事。
- ・定年退職後の仕事。
- ・仕事を続ける。

○まちの環境

- ・柏原や氷上などの住宅の多い地域だけでなく、他の地域でも病院や店を増やしてほしい。
- ・大きなスーパーとか LAWSON とかがあれば良いと思う。
- ・近くに大きいスーパーと LAWSON があったら、だいじょうぶだと思う。
- ・コンビニやスーパー、ドラッグストア等がもう少し充実してほしい。
- ・安いスーパーが近くにあればいい。ベトナム食材が売ってある店があるといい。
- ・大型ショッピングモール。・休日に楽しめる場所がもう少しあれば良いと思います。
- ・もう少し商業施設が欲しい。カフェとかも。
- ・映画館や娯楽施設。
- ・商業施設が増えたら嬉しい。
- ・図書館を集約化して、本がすぐに手に入るようにしてほしい。また、本の利用以外にも、誰もが立ちよることができ、多目的に利用できる複合施設（フリースペースやカフェ、スタジオ等）にしてほしい。
- ・飲食施設、他県からも寄れる場所。
- ・独身の一人でも入れる飲食店が少ない。お一人様でも大歓迎のお店を紹介して欲しいです。
- ・高速インターもしくは出入口。
- ・駅をもっと発展させていただきたいです。柏原駅にコンビニやイトインできるような施設があるともっと利用しやすいのになと思います。おばあちゃんの里のようなお土産コーナーもあると嬉しいです。
- ・インフラの整備。

○子育て・教育・男女共同参画

- ・子育て支援の充実。
- ・子どもを育てる共働き世帯への支援。
- ・共働き正社員をしながら子育てを両立できる環境・支援。
- ・子育て世帯やひとり親家庭への給付金。
- ・大阪より不便なのを覆すことはできないが、大阪より福祉を豊かにすることができる。これから子育てをする世代の私としては、子育て支援を豊かにしてほしい。高校までの学費無償化、医療費の無償化、子が誕生日を迎える毎に10万円給付など。物価が上がるが収入は変わらないこの時代に、金銭面での支援なしに子供を産み育てようというのはお金持ちでない限り厳しいと思う。現在、子供は贅沢品と比喻される時代。1人育てるのも莫大なお金がかかるため、子供は欲しいが躊躇する気持ちがある。
- ・保育料が高い。経済的にも子育てしやすい環境を整えたい。
- ・子育て世代への補助をお願いしたいです。年収とかで制限せずです。子供や若者への投資が将来的に全世代への投資につながることをわかりやすく簡潔に伝えて行くのが大事だと思います。お年寄りの多い地域なので子供や若者をアピールしすぎると反発もあるのであくまで最終的には全世代への投資に直結するアピールが大事だと思います。また、子育て世代の生活費が具体的にどれくらい掛かっているか、丹波市で働く子育て世代の世代年収はいくらで生活しているかも調査して伝える必要はあると思います。
- ・3歳までの保育の無料化など少子化の対策。
- ・地域によって差がかなりあると思いますが、若者が少ないので子供の世代も尚更少ないので

まだ小さい間の登下校等心配です。人数等考慮し、極端に少ない地区の児童の家庭にはなにか GPS 等わたしてもらえたら安心かなと思います。卒業するときに返却し、また新入生が使えたりすると思います。

- ・子どもが遊べる場所を増やして欲しい。
- ・子供の少なさが心配なので、子供達が生き生きと過ごせる場所を多く増やしてほしい。
- ・大人が学び続けることができる、環境整備、情報の集約・発信をお願いしたい。

○生活関連サービス・生活費

- ・JR の運行本数倍増及び、JR とバスの乗換時間短縮化。
- ・電車の本数を増やし、大阪、神戸へ出やすくすることにより、都会に出やすい田舎を作る。
- ・都市圏への交通アクセスがより良くなること。
- ・バスや電車の本数が増えたら、子供やお年寄りも生活しやすいと思います。
- ・公共交通機関の充実。
- ・公共交通機関の充実。
- ・交通機関の充実。
- ・交通の便利さ。
- ・JR の複線化は絶対進めて欲しいです。一時間に一本では通勤するのに不便すぎて辛い。
- ・あらゆる施設へ自家用車以外でのアクセス手段が増えること
- ・公共交通機関の充実。
- ・電車の本数、直通で大阪駅まで、高速バスで神戸までと都市部へのアクセスを増やしてほしい。
- ・都市部へのアクセス向上。
- ・電車の本数増。(流石に1時間1本は休日遠出で遊びに行こうとすると時間調整が不便)
- ・歳をとって車が運転出来なくなっても生活できる環境。
- ・高齢になった時の移動手段。
- ・老いてきたら車も乗れないし、買い物不便だと思います。
- ・具体的な方策は提案できませんが、お年寄りが車がなくても毎日の買い物ができる環境が必要だと思います。
- ・ネットスーパーの充実。
- ・ガソリンが高い。
- ・ゴミ袋と水道料金の値下げ。普通に高すぎます。
- ・丹波市のゴミ袋の値段が以前住んでいた所より高く、引っ越してきて驚いた。値下げを検討してもらえたら、家計も助かると思います。
- ・食べ物と水代安い方がいいと思います。
- ・水道代・ゴミ袋代等生活費の値下げ。
- ・買い物する場所が少ない。安いところに行くには車で20分はかかる。(氷上柏原地区辺り)店の少ない地域によって交通費や、食用品等補助がでると助かると思います。

○福祉・医療

- ・医療の充実。
- ・介護施設の充実。
- ・福祉に優しい巡回バス。
- ・医療の補助が充実していること。

○その他

- ・転入一年目なので、特に思い当たらない。地域とのコミュニケーションを取る機会が少ない

かなとは思いますが。

- ・繋がりが出来る場があると有り難い。
- ・どこにどんな地域資源があるか確認できる資源一覧表があってほしい。
- ・どういう街にしたいかが、みんなが考えられるようになる事。そのために、正しい現状認識と、街の歴史(衣食住も含め)を知る。街の素晴らしい点を知る場、学べる場があると良い。
- ・農業の衰退に対する政策。
- ・地域復興の為特産品の取り扱いの増加。
- ・現状であっても充分住み続けたいと思っております。移住者は、仕事の都合でない限り私のように「河川・森・神社などの日本らしい本来の姿の自然」や「安心な食や農業」を求めて移住されてくる方が多いと思います。その上で有機・無農薬栽培の農家様への更なる支援、自然素材や地産地消をされている飲食店様への支援や増加、自然食材の販売拠点の増加、有機食材などの健康面でのメリット、こういったことへの一般的な知識普及などがございまして更に有難いと感じておりますし、移住者のニーズに合うのではないかと感じております。
- ・変に田舎に無いものを求めることなく、丹波市の気候や風土、人のつながり、ここにしかないものがある。これらをもっと見つめ直して外に発信し、強みに活かしていくことに重きを置いていけば良いと思う。あればという発想ではないと思う。
- ・自治会、お寺、神社、農会などいろいろ出る事が多いことが大変だなと思う。
- ・以前住んでいた地域と比べて、自治会費が10倍以上になり、家計の負担になっている。また、日役や不参金が負担が多い。自治会費はどのように使われているのか分からず、自治会の行事は年配の方向けの行事が多く、自治会に入るメリットが少ないと感じている。自治協議会、自治会においても若者が意見を言いやすく、参加したくなるような工夫をしてほしい。
- ・自治会、PTAの解散。会費が高すぎる。時間が取られめんどくさい事が多く、時代遅れである。
- ・自治会の役や行事の負担が大きいので無くす。
- ・市島町は福知山市に近いので何かと便利、このような街があればなんとかなる。
- ・仕事の斡旋、コロナワクチン接種。このアンケートに意味あるのかなあ？税金の無駄遣い
- ・田舎暮らし自体とてもいいと思うが、昔からの地域の風習？がいつまでつづくのか考えますし、お年寄りばかりなので、日中監視してくるような人や過干渉してくる人がいたりすると散歩や庭で遊んだりしにくいです。でも子供が楽しく大声で騒いでいても誰一人なにもいってこないのでもそこは本当に助かりますしおのびのび子育てできていると思います。自然の中子育て世帯には住みやすい反面、昔ながらの考えや、風習があり住みづらいなともあります。多分遊ばせ辛いと思っている若い世代はいらっしやると思います。小さな公園すらないので交流ももちろんないですし、子供の姿もほとんどみません。土地がたくさんあるのに公園がないのはもったいないです。私たち家族はいつも30分以上かけて公園や、室内遊び場にいきます。必ず1地域に小さな公園はほしいなとおもいます。
- ・まずバスやタクシーなどの、代替え交通手段がなさすぎます。せめて病院までの本数増やすなど配慮できる部分もあると思います。クレジットでの支払いすら対応できないタクシーでは不便すぎます。乗る気にならない。歩道がアスファルトではなく砂利は何のために敷き詰められているのか。歩きにくく、電車から降りてもアタッシュケースも引く事ができない。自転車も抵抗になって進まない。点字ブロックも適当な設置でしかなく、まさにお役所仕事。誰の得になっているのか、アンケート前に自分で経験すればほとんど気づくのではないのでしょうか？ゴミ袋のサイズはなににに合わせて作成されているのか、丁度よいサイズがなく値段も高い。少量のゴミは出しにくい。よそから移住して住み続けるよりも世代により出ていくほうが多いのではないのでしょうか。
- ・昨年父が倒れて入院をし病院の先生から覚悟をして下さいと言われたのをきっかけに父の住む丹波市に移住を決めました。運転免許証は返納して足腰もおぼつかないですが、病院の先生はじめ看護師、スタッフ皆様の尽力のおかげで退院をして家で過ごす事は出来るようにな

りましたもっと丹波市の情勢を調べてから移住を決意したら良かったのですが、健康保険税に出鼻をくじられました。国民健康保険なのに日本国民全員同じ条件じゃない事に納得がいきません。丹波市の魅力は何でしょうか？充実した社会保険のある会社がたくさんある事でしょうか？I ターンのみならず u ターンの者にももっと何かあれば戻って来たいと思える方が増えるのではないかと思います。人口が増えた方が税収は上がるはずですが。丹波市は綺麗な自然が魅力だと思うのでこの自然の中で生活がしたいと思える人を増やす事をもっともっとやっていってもらいたいなと思います。

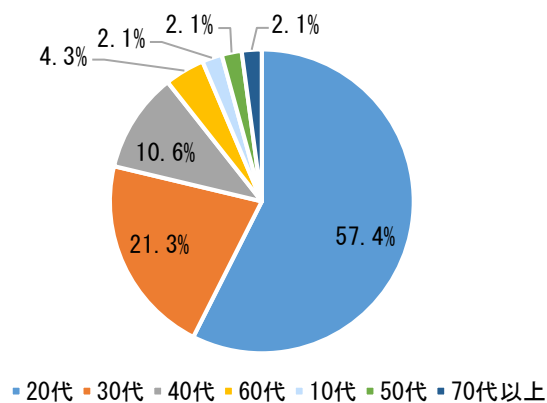
- 全てにおいて、活性化しておらず、中途半端なため、住み続けたいとは思わない。
- 田舎に住むメリットが何もないと思われると、ますます市外への人の流出を招くと思います。実際私も将来三田市へ戻るか迷っていますので、住みやすい丹波市になるようにとても期待しています。
- 公約の守れない市長の排除。

3 調査結果（転出者）

（1）回答者の年齢（選択式）

回答者の年齢は、20代だけで全体の半数以上、40代までで全体の9割以上と、前回と回答者の年齢の傾向はあまり変わっていない。

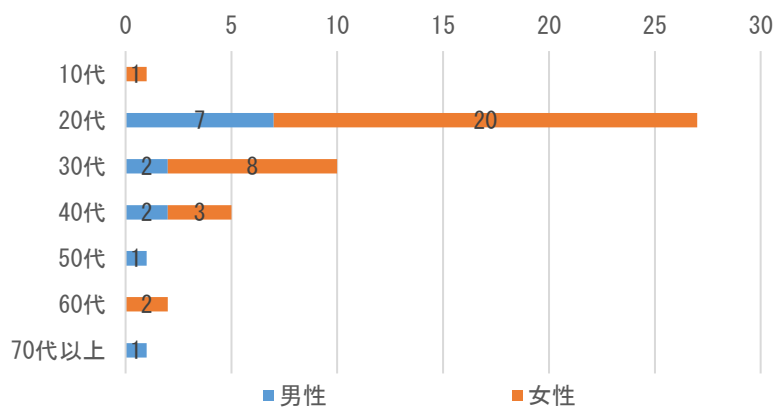
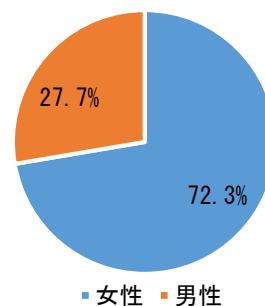
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
20代	27	57.4%	54	50.5%
30代	10	21.3%	33	30.8%
40代	5	10.6%	9	8.4%
60代	2	4.3%	0	-
10代	1	2.1%	5	4.7%
50代	1	2.1%	5	4.7%
70代以上	1	2.1%	1	0.9%
合計	47		107	



（2）回答者の性別（選択式）

回答者の性別は、女性が72.3%、男性が27.7%だった。特に20代女性だけで全体の4割以上を占めた。

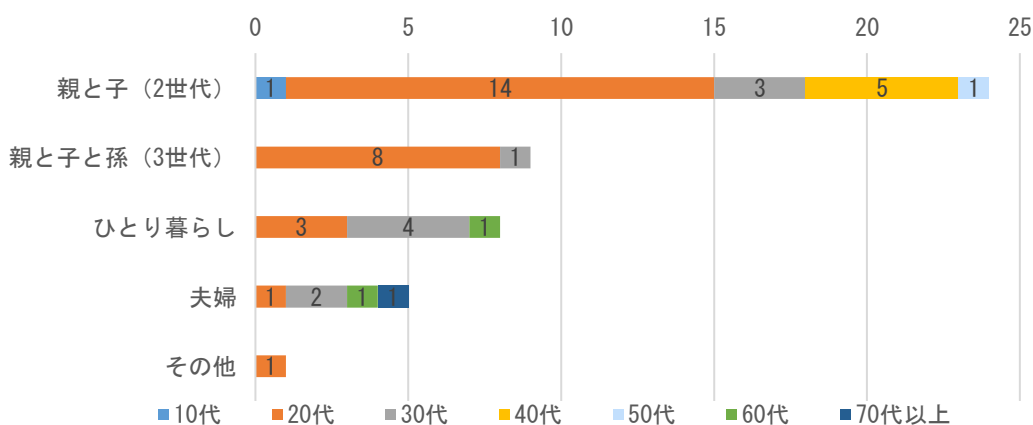
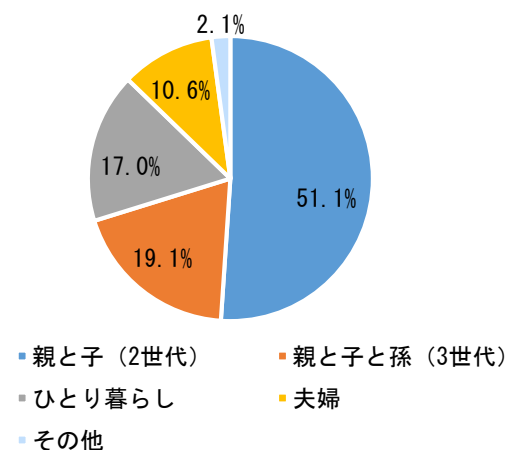
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
女性	34	72.3%	65	60.7%
男性	13	27.7%	41	38.3%
その他	0	-	1	0.9%
合計	47		107	



(3) 回答者の丹波市在住時の家族構成（選択式）

回答者の丹波市在住時の家族構成は、もっとも多かった「親と子（2世代）」が51.1%、続いて「親と子と孫（3世代）」が19.1%、「ひとり暮らし」が17.0%だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
親と子（2世代）	24	51.1%	48	44.9%
親と子と孫（3世代）	9	19.1%	20	18.7%
ひとり暮らし	8	17.0%	26	24.3%
夫婦	5	10.6%	8	7.5%
祖父母と孫	0	-	1	0.9%
その他	1	2.1%	4	3.7%
合計	47		107	



[その他の内容]

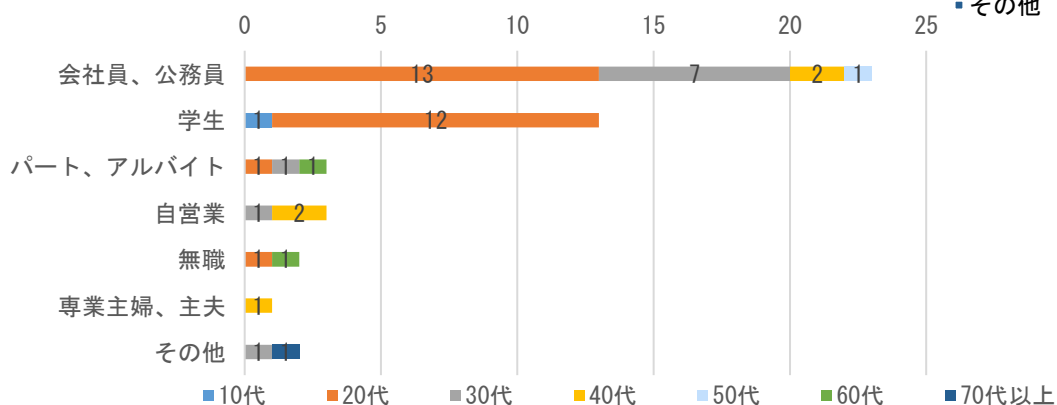
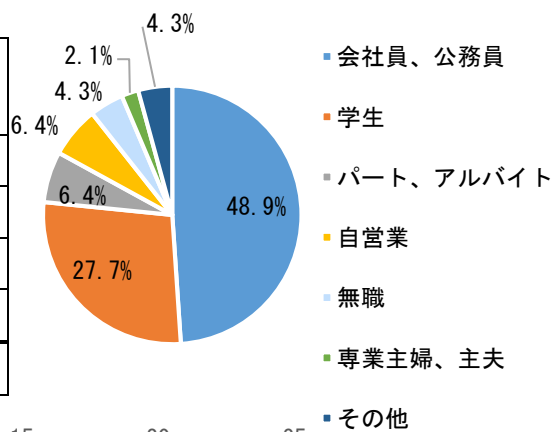
兄弟

(4) 回答者の丹波市在住時の職業（選択式）

回答者の職業は、「会社員、公務員」が48.9%と約半数あり、「学生」27.7%、2つで全体の76.6%を占めている。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
会社員、公務員	23	48.9%	53	49.5%
学生	13	27.7%	32	29.9%

パート、アルバイト	3	6.4%	9	8.4%
自営業	3	6.4%	1	0.9%
無職	2	4.3%	4	3.7%
専業主婦、主夫	1	2.1%	3	2.8%
その他	2	4.3%	5	4.7%
合計	47		107	



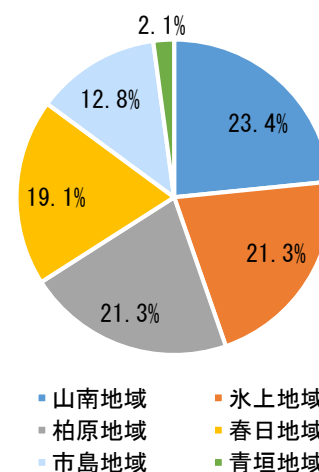
[その他の内容]

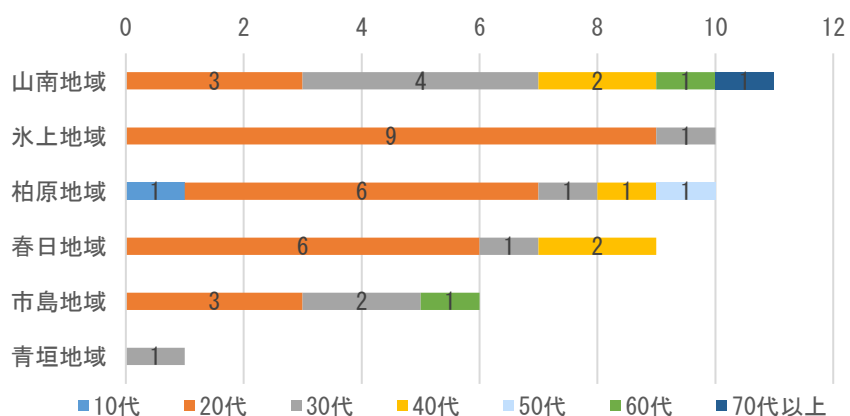
自給自足を目指した生活

(5) 回答者の丹波市でのお住まいの地域（選択式）

回答者の居住地域は、山南地域が23.4%、氷上地域と柏原地域が21.3%ずつ、春日地域19.1%、市島地域12.8%、青垣地域2.1%だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
山南地域	11	23.4%	20	18.7%
氷上地域	10	21.3%	32	29.9%
柏原地域	10	21.3%	23	21.5%
春日地域	9	19.1%	14	13.1%
市島地域	6	12.8%	9	8.4%
青垣地域	1	2.1%	9	8.4%
合計	47		107	



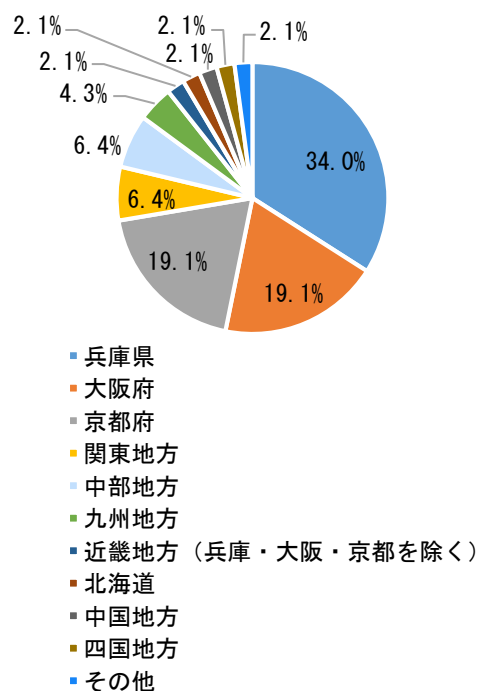


(6) 丹波市転出後の居住地（選択式）

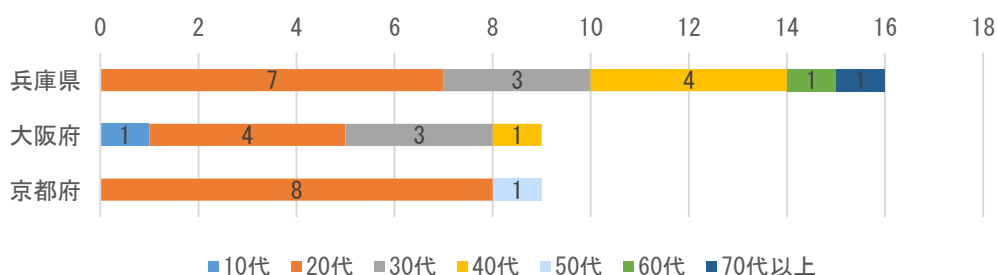
回答者の転出後の居住地は、兵庫県内が34.0%で最も多く、大阪、京都を合わせた3府県で全体の72.3%を占めた。

市区町村別では、大阪市（4人）、神戸市・三田市・西宮市（3人）が多かった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
兵庫県	16	34.0%	50	46.7%
大阪府	9	19.1%	21	19.6%
京都府	9	19.1%	9	8.4%
関東地方	3	6.4%	6	5.6%
中部地方	3	6.4%	4	3.7%
九州地方	2	4.3%	2	1.9%
近畿地方（兵庫 県、大阪府、京都 府を除く）	1	2.1%	5	4.7%
北海道	1	2.1%	2	1.9%
中国地方	1	2.1%	5	4.7%
四国地方	1	2.1%	2	1.9%
その他	1	2.1%	1（※）	0.9%
合計	47		107	



※前回報告書では「その他」を6としたが、今回の集計では前回「その他」とした「近畿地方（兵庫・大阪・京都除く）」を単独項目としたため、1とした。



[上位3地域の詳細内訳]

○ 兵庫県 (16)

神戸市 (3)、三田市 (3)、西宮市 (3)、丹波篠山市 (1)、西脇市 (1)、宝塚市 (1)、川西市 (1)、加古川市 (1)、小野市 (1)、朝来市 (1)

○ 大阪府 (9)

大阪市 (4)、大阪府 (4)、茨木市 (1)

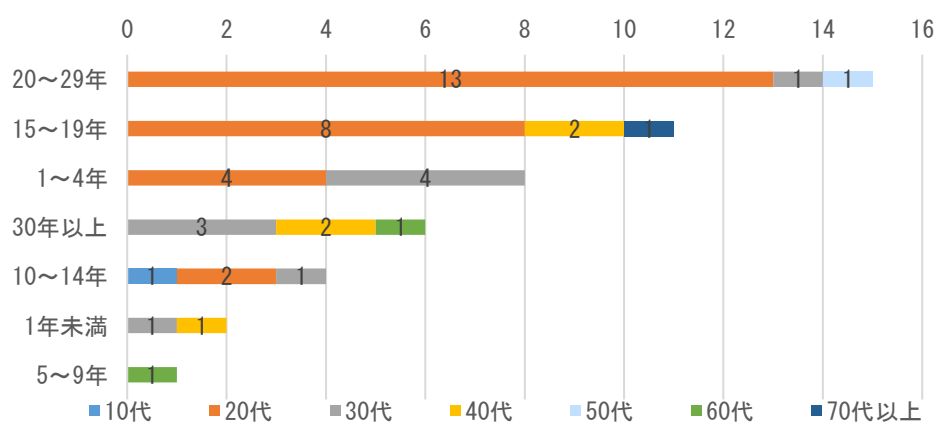
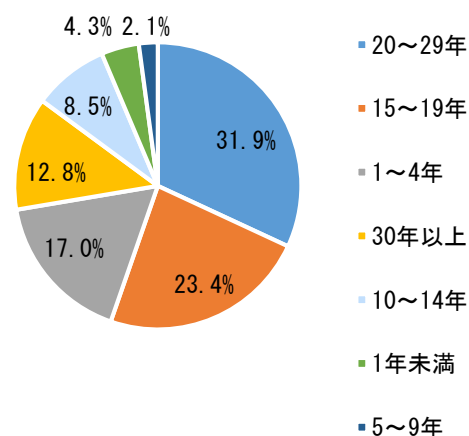
○ 京都府 (9)

京都市 (2)、福知山市 (2)、京都府 (2)、城陽市 (1)、舞鶴市 (1)、八幡市 (1)

(7) 丹波市での居住期間 (記述式)

回答者の転出前の居住地での居住期間は、20～29年が31.9%、15～19年が23.4%、1～4年が17.0%だった。20代の77.8% (21人) が18年以上の年数を回答した。

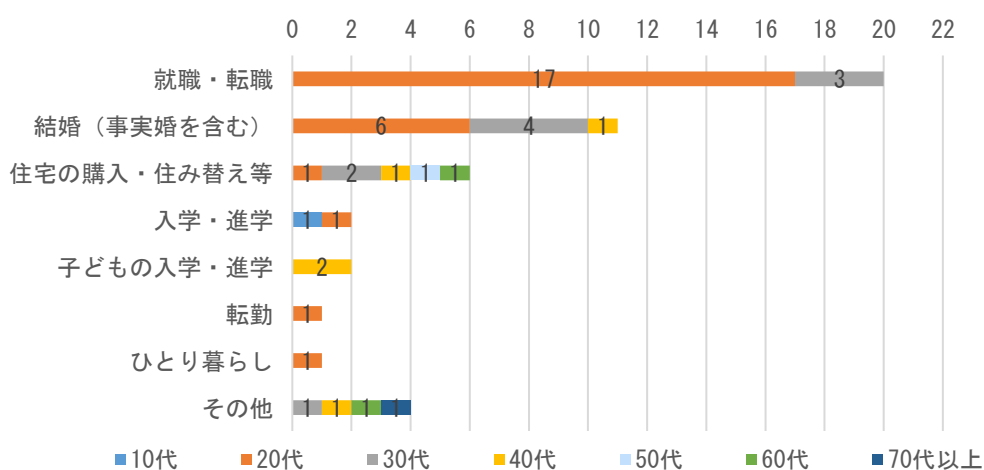
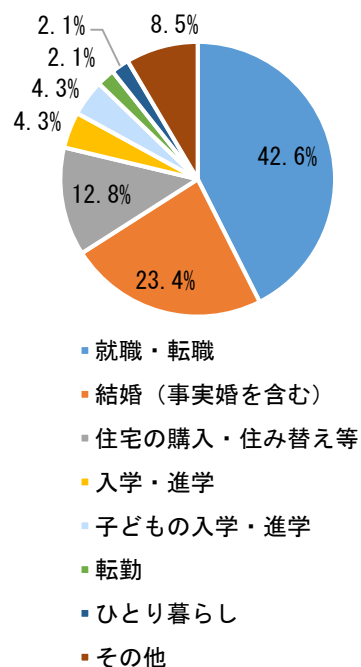
項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
20～29年	15	31.9%	26	24.3%
15～19年	11	23.4%	31	29.0%
1～4年	8	17.0%	21	19.6%
30年以上	6	12.8%	18	16.8%
10～14年	4	8.5%	2	1.9%
1年未満	2	4.3%	6	5.6%
5～9年	1	2.1%	3	2.8%
合計	47		107	



(8) 丹波市から転出したきっかけ（選択式）

丹波市から転出したきっかけでは、「就職・転職」が42.6%で最も多く、続いて「結婚（事実婚を含む）」が23.4%、「住宅の購入・住み替え等」が12.8%、「入学・進学」と「子どもの入学・進学」が4.3%だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
就職・転職	20	42.6%	41	38.3%
結婚 (事実婚を含む)	11	23.4%	24	22.4%
住宅の購入 ・住み替え等	6	12.8%	6	5.6%
入学・進学	2	4.3%	13	12.1%
子どもの入学・進学	2	4.3%	0	-
転勤	1	2.1%	10	9.3%
ひとり暮らし	1	2.1%	4	3.7%
介護	0	-	1	0.9%
離婚	0	-	1	0.9%
家族との同居	0	-	1	0.9%
その他	4	8.5%	6	5.6%
合計	47		107	



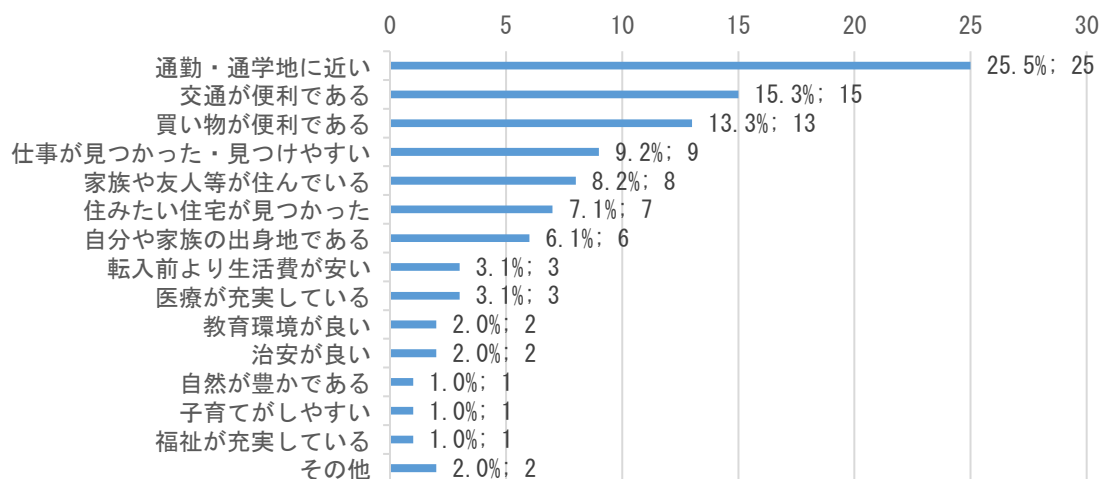
[その他の内容]

地域のほとんどの人はいい人だったが一部の人に受け入れてもらえず辛かったため、結婚に向けた同棲のため、丹波市外にある自宅の維持管理のため、通勤時間が長かったため

(9) 現在の居住地を転出先として選んだ理由（選択式）

転出先として選んだ理由は、「通勤・通学地に近い」25.5%、「交通が便利である」15.3%、「買い物が便利である」13.3%となった。

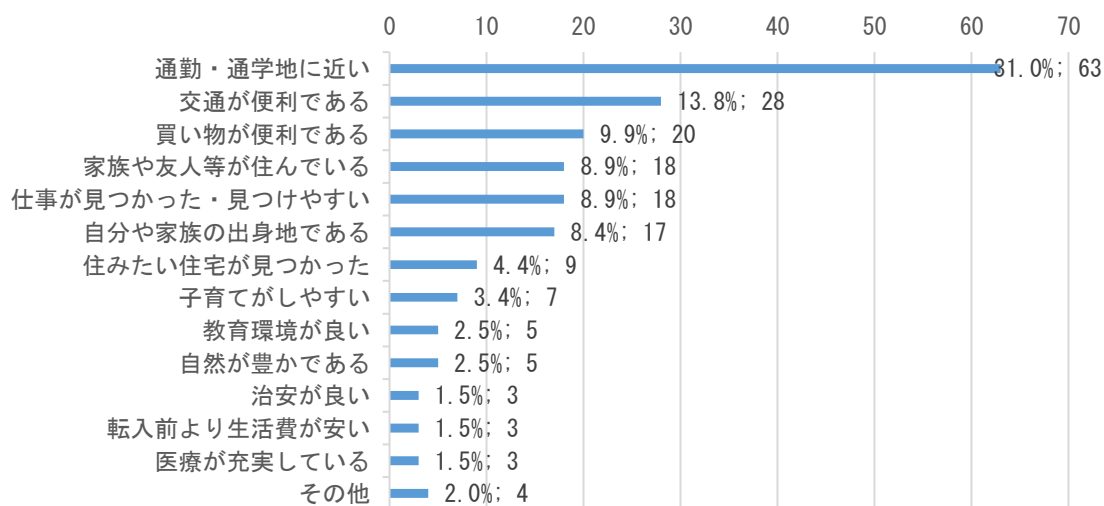
(回答総数：98、回答人数：47人)



[その他の内容]

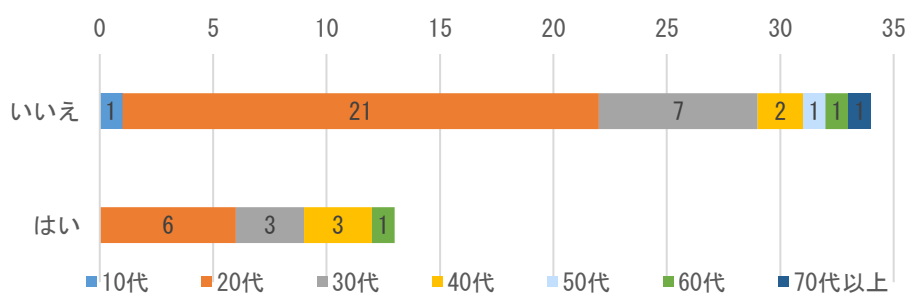
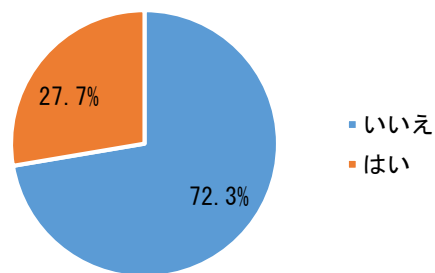
両者の中間地点、会社都合の転勤

前回（回答総数：203、回答人数：107人）



(10) 移住先を検討する際、今の居住地以外の自治体を検討しましたか。(選択式)
 「はい」と答えた回答者が72.3%、「いいえ」が27.7%だった。

項目	今回		前回	
	回答数	割合	回答数	割合
いいえ	34	72.3%	87	81.3%
はい	13	27.7%	20	18.7%
合計	47		107	



[他に検討した自治体 (回答総数:11、回答人数11人)]

転出時に検討した自治体は、西宮市が2、明石市・加東市・尼崎市・神戸市・三田市・猪名川町・滋賀県野洲市・大阪府・神奈川県が1ずつだった。

(11) これから丹波市がどうなれば、どういうことがあれば丹波市へ帰ってきたい
 と思いますか。

(回答者 32 人)

○ 全般

- ・買い物が便利になったり助成金などがもっと手厚くなれば。
- ・高齢者だけでなく現世代にとって良い自治体。
- ・障害者にも優しくして欲しい。
- ・教育・福祉・医療が他地域の水準にあがること。かつ、丹波市しかできない特性ができること。
- ・住民に対しての教育、生活制度が良くなったら。また、就職先が今よりいい所があれば。
- ・丹波子育て政策が整い、大型ショッピングモールができるなど住み良い環境になったら。

○ 移住 (Uターン)

- ・Uターン、Iターンの補助があること。(年齢制限なく)

○ 就職・仕事

- ・働き先が見つければ。
- ・保育士の給料があがれば戻りたい。
- ・ブラック企業が減れば戻って転職したいですね。以前、働いていた企業では4年目でボーナスが8万ほどだったので。月給も14万ほどでしたので。

○ まちの環境

- ・スーパーじゃなくて子供が集まって遊べる商業施設が増えたら。
- ・オシャレなカフェが沢山増えたら。
- ・もっと飲食店やコンビニを増やして欲しいです。
- ・大きな祭りやフェス(出し物)などがあると帰りたくなる。

○ 子育て・教育・男女共同参画

- ・子供を育てやすい。
- ・子育てしやすい場所になったら。
- ・子育て世代への支援拡大。子育て世代の転入は納税者の確保に繋がります。

○ 医療・生活関連サービス・生活費

- ・医療充実。
- ・ゴミ袋代が安くなったら。
- ・ゴミ袋が安くなったら。
- ・交通の便が良くなったら。(JRの複線化や直通バス等)
- ・交通の便が良くなったら。
- ・公共交通機関の発達。
- ・交通が便利になったら。
- ・電車など交通の便が良くなれば帰りたと思う。
- ・交通の便の改善。
- ・電車などがもう少し充実したらいいなと思います。

○ まちづくり

- ・もう年なのでむりですが、村の確執とかが若い人たちの負担にならないようにしてあげるといいと思います。
- ・もっと都会になったら。
- ・利便性が悪く、物価も高い。車がないと暮らせない。地域付き合いも大変。毎日、田畑の草刈りに追われていた。これらが改善される事を望みます。長年住み慣れた土地には、愛着がありますが、歳と共に、生活への不安が大きくなりました。

○ その他

- ・交通の便が良くなれば嬉しいです。が、田舎は田舎のままであって欲しいと言う想いもあります。
- ・もう既に丹波市は素敵どころなので今すぐにも帰りたいです。自然豊かで人もあたたかくて充実した地域コミュニティでできている素敵な自治体だと思います。
- ・いつでも帰ってきたい土地です。
- ・チャンスがあれば戻します。
- ・姉の家族で住んでいるので会いに行きたいです。
- ・今も半分は丹波市で、家屋、畑の維持管理をしています。
- ・どうなっても帰ることはないと思います。
- ・自分ことだけしか考えない自己中心的な政治家がいなくなったら。
- ・ちゃんと福祉や行政にまともな人間を入れて欲しい。
- ・市長が変わること。
- ・市長が代われれば考えないこともないが、まず帰らない。
- ・篠山市との間のいざこざの解消。